

# 人口減少の原因がどこにあると認識しているのか



宇津木治宣 町長



## 町内に適当な土地がないことが人口減少の要因

**質問** 町長は、政策の基本姿勢を「町の人口を増やし、町の活性化を図ること、町の財政を健全化し、玉村町発展の基盤をつくる」としている。人口減少の原因がどこにあると認識しているのか。

**答弁** 町長 玉村町の人口は平成16年の3万8409人をピークに減少し、現在は、3万6922人になっている。原因としては、若年層が大学進学や就職のため都市部へ流出したことである。転出理由のアンケートによると「住宅の関係」と回答した人が61%と最も多い。玉村町に適当な土地がないことが人口減少の要因の一つと考える。

**質問** 人口問題を克服する以下の施策推進を提言する。  
・住宅取得費や新家庭への家賃補助  
・大規模既存集落の指定を受け農家以外の子どもたちに宅地提供  
・文化センター周辺開発などの

町主導の住宅地の供給  
・学区ごとの児童館、待機児童ゼロ、学校給食の無料化など子育てするなら『玉村町』の政策のさらなる推進  
・交通の便を生かし周辺自治体で進む工業団地での雇用の確保  
・全町下水道整備の住環境のよさを生かす  
・英語特区を生かした特徴あるまちづくり  
・歴史資産を生かした賑わいのあるまちづくり

**答弁** 町長 提言と一致するところは、大変多いと感じる。既に取り組んでいるものやさらに発展しなければならぬ事業もある。財政状況を見きわめ、議会などと協議しながら進めたい。



建てかえが急がれる「たんぼぼ」

**答弁** 町長 「たんぼぼ」は、平成27年度の施設整備事業として県に要望していたが、該当しなかった。引き続き要望し実現したい。

## 保育所給食の外部委託に異議あり

**質問** 保育所給食は、発達段階にある乳幼児にとって大切なものだ。委託では保育の重要な役割を果たせない。

**答弁** 町長 調理職員の体制が確保できないので業務委託に踏み切った。業者調理に懸念を持たれる気持ちはわかるがご理解を。

# 保育所調理の委託は時間をかけて議論しろ



石川眞男 町長



## 今後はしっかり説明し議論する



安全・安心な給食が提供される保育所

**質問** 第4保育所の給食調理業務委託は、その格上効率はではない視点もあり、時間をかけて議論する必要があるが。

**答弁** 町長 退職した調理員の補充が間に合わないで、安全・安心な食事が提供できる業者への業務委託を判断した。今後については、丁寧に説明し理解していただく。

**質問** 指定管理、業務委託などが増えている中、町が外部委託に責任を持つという観点からの公契約条例が必要と考えるが。

**答弁** 町長 住民福祉の増進に寄与する公契約条例の制定が推進されているが、県内市町村の動向を注視し、情報収集を行って検討したい。

## 経常収支比率改善の取り組み姿勢を問う

**質問** 補助金の見直し、コスト削減というが、社会的経済的弱者を守る観点からは、むしろ増額の必要すらあると考えるが。

**答弁** 町長 「経常収支比率」という一面だけを捉えているのは行政の責任を果たせない」という提言と受け止め、これからの行政運営に生かしたい。

## 玉村町総合教育会議の位置づけは

**質問** 教育委員会の町長部局からの独立性を尊重した対応が、教育の政治的中立性・継続性・安定性を担保することにつながると考えるが。

**答弁** 町長 首長と教育委員会が教育行政の重点施策について協議・調整をするが、最終的な執行権限は教育委員会に留保されていると認識している。

**質問** 今後も玉村町は自律路線で進むべきと考えるが。  
**答弁** 町長 現在の玉村町は自律路線が最善のものと考えている。

こんな質問もしています

- ・玉村町の友好交流都市や大学との今後の関係について問う
- ・職員管理に関して問う